

## 評価項目及び評価基準表

業務名：大倉山ジャンプ競技場ラージヒル改修実施設計等技術協力業務

実施委員審査項目（各委員が採点）

審査項目	評価項目	評価の視点	配点	
1. 業務実施体制	(1) 配置技術者	配置技術者は、管理技術者及び照査技術者として、本事業に有効な類似業務実績や保有資格等を有しているか。	10	5
	(2) 業務管理計画	技術提案に関する技術情報の提供のほか、業務の進捗に応じ、設計の課題整理や技術提案部分を含めた設計内容の確認・照査、全体工事費を発注者、設計者の3者間で管理できるような業務計画が提案されているか。		5
2. 技術提案	(3) ジャンプ台本体の構造	ジャンプ台施設の基本的な特性を理解し、急傾斜地・狭隘な現場という厳しい条件下で、技術的な実績に基づき、安全な施工と確実な完成が見込める構造となっているか。	120	10
	(4) 急傾斜地への対応	困難な急斜面の地形・地質条件を踏まえ、作業員の施工の安全性を確保した上で、資材運搬・揚重等について効率的・効果的な作業に資する工夫が提案されているか。		20
	(5) 周辺自然環境への配慮	仮設道路や揚重等の仮設物設置で、実績に基づく独自の施工計画が提案されており、周辺樹木の保全に配慮されているか。		20
	(6) FIS公認・大会開催への配慮	効果的で実現性の高い工法が提案されており、FISの公認取得や冬季のスキージャンプ大会開催に配慮されているか。		20
	(7) コスト管理体制の構築	初期の設計段階から、コストシミュレーションとリスク分析を徹底し、予見可能な施工上の課題に基づく手戻りや増額変更を未然に防ぐ具体的かつ実現性の高い社内の管理体制や、発注者・設計者との3者間での協力体制が提案されているか。		20
	(8) 施工上のリスク管理の提案	工期的な制約がある中で、円滑な施工を進めるうえで不確定要素となり得る、施工上のリスクを適切に把握し、そのリスクや手戻りを最小化するための実効性の高い工夫が提案されているか。		10
	(9) その他独自提案	本工事の施工にあたっての施工性や経済性等の観点による技術的な提案や、本事業の目的を踏まえた競技の振興や市民理解の促進に寄与するPRなどに関する提案があるか。（独自提案がない場合、当該評価項目はゼロ点とする）		20
		合計（委員一人あたり）		130